

高校生 ICT Conference 2016

高校生 ICT Conference 2016 サミット

「ネットトラブル! どうする? 【予防】と【対策】

～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～」

開催報告書

2016年11月3日(木・祝) 13:00-17:00

【会場】東京 ユビキタス創造広場 CANVAS (内田洋行)

主催

安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁



2016年11月3日

目 次

1. 開催概要	1
2. 高校生 ICT Conference 2016 地域開催	3
3. 高校生 ICT Conference 2016 in サミット 開催概要	4
4. 主担当	8
5. 高校生 ICT Conference 最終報告会	8

1. 開催概要

名称：	<p>高校生 ICT Conference 2016</p> <p>テーマ：「ネットトラブル! どうする? 【予防】と【対策】 ～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～」</p>
主催：	<ul style="list-style-type: none"> ● 安心ネットづくり促進協議会 ● 大阪私学教育情報化研究会 ● 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 ● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会 ● 長野県教育委員会（長野のみ） ● 福岡県青少年インターネット適正利用推進協議会（福岡のみ） ● 大分県（大分のみ） ● 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所（大分のみ） ● 特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム（神奈川のみ） ● 仙台城南高等学校（宮城のみ）
共催：	<p>内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁、 十勝毎日新聞社（帯広のみ）、みやぎのICT教育研究専門部会（宮城のみ）、新潟県サイバー脅威対策協議会（新潟のみ）、いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会（石川のみ）、学校法人中村学園専門学校静岡電子情報カレッジ（静岡のみ）、帝塚山大学（奈良のみ）、大分県教育委員会、大分県高等学校PTA連合会（大分のみ）</p>
後援：	<p>一般社団法人全国高等学校PTA連合会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、全国高等学校情報教育研究会、北海道、北海道教育委員会、北海道高等学校PTA連合会、北海道私立中学高等学校協会、北海道青少年有害情報対策実行委員会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県高等学校PTA連合会、新潟県教育委員会、新潟県高等学校長協会、新潟県高等学校PTA連合会、石川県、石川県教育委員会、石川県高等学校長協会、石川県高等学校PTA連合会、北陸携帯電話販売店協会、静岡県、静岡県教育委員会、静岡県公立高等学校PTA連合会、東京都教育委員会、東京都高等学校情報教育研究会、神奈川県教育委員会、大阪府高等学校情報教育研究会、奈良県、奈良県情報教育研究会、奈良県教育委員会、青少年を有害環境から守る奈良コンソーシアム、高知県教育委員会、高知新聞、福岡県公立高等学校長協会、福岡県私学協会、福岡県公立高等学校PTA連合会</p>
協賛：	<p>グーグル株式会社、株式会社サイバーエージェント、株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社ラック、グリー株式会社、LINE株式会社、エースチャイルド株式会社、株式会社メディア開発綜研、Twitter Japan株式会社、一般社団法人情報教育研究所</p>
協力： (順不同)	<p>アルプスシステムインテグレーション株式会社、株式会社内田洋行、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、特定非営利活動法人浜松子どもとメディアリテラシー研究所、NPO法人e-Lunch、株式会社朝日出版社、ストップイットジャパン株式会社</p>

開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加し、2013 年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに加えて 5 拠点にて開催し、計 51 校 267 人の高校生が参加しました。2014 度も同 5 拠点にて開催し、計 44 校 221 人の高校生が参加しました。<u>2015 年度は、より全国的な規模での展開に向けて、新たに石川、長野、神奈川、福岡を加えた 9 拠点にて開催し、計 78 校 310 人の高校生が参加しました。</u></p> <p>さらに当事者たる高校生の意見を中央に届けるべく、各地域の代表者はサミットにより提言をまとめ、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省で発表を行いました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政府に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年度の小学校を皮切りに、平成 24 年は中学校、平成 25 年度は高等学校で全面実施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
開催の概要：	<p>【各開催地での内容】※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>(1) 挨拶 (2) 講演 (3)アイスブレイク (4)熟議 (5)グループ発表 (6) 講評 (7)サミット参加者発表</p> <p>【東京サミット】</p> <p>(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】</p> <p>(1) 各府省庁への提言発表（プレゼン） (2) 質疑応答・意見交換</p>
各開催地	募集参加生徒 30 名
募集人員等：	募集見学者各回 30 名（各開催地により変動あり）
参加参観方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]

高校生 ICT Conference2016 実行委員会：	【委員長】 <ul style="list-style-type: none"> 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長） 【コアメンバー】 <ul style="list-style-type: none"> 石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会代表・消費者団体訴訟室長） 猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所） 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事） 小城 英子（聖心女子大学） 齋藤長行（青山学院大学 株式会社 KDDI 研究所） 他、関係者団体、事業者等 【事務局】 安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 齋藤ビル 2 階 TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180
-------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 高校生 ICT Conference 2016 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

	地域	開催日時	会場
地域開催	北海道（札幌）	2016年10月16日（日）11:00-17:00	札幌ユビキタス協創広場 U-cala
	北海道（帯広）	2016年10月15日（土）11:00-17:00	とちちプラザ
	宮城	2016年8月22日（月）10:00-17:00	東北工業大学 一番町ロビー
	石川	2016年9月19日（月）10:00-17:00	石川県女性センター
	長野	2016年10月1日（土）10:00-17:00	安曇野市明科公民館
	新潟	2016年8月20日（土）10:00-17:00	ガレソホール
	東京	2016年9月4日（日）10:30-17:00	東京ユビキタス協創広場 CANVAS
	神奈川	2016年9月11日（日）10:00-17:00	岩崎学園
	静岡	2016年9月25日（日）10:00-17:00	静岡電子情報カレッジ
	大阪	2016年8月28日（日）10:00-17:00	大阪ユビキタス協創広場 CANVAS
	奈良	2016年10月2日（日）10:00-17:00	帝塚山大学 東生駒キャンパス
	高知	2016年8月23日（火）9:30-16:30	ちより街テラス
	福岡	2016年8月18日（木）12:30-17:00	アクロス福岡
大分	2016年10月2日（日）10:00-16:00	アイネス、大分県消費生活・男女共同参画プラザ	
東京サミット	2016年11月3日（木）13:00-17:00	東京ユビキタス協創広場 CANVAS	
最終報告会	2016年12月14日（水）	各省庁	

3. 高校生 ICT Conference 2016 サミット 開催概要

概要	<p>高校生、教員、行政、企業関係者など 110 名の参加者を得て、『ネットトラブル！ どうする？【予防】と【対策】～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～』をテーマに、高校生 ICT Conference2016 各開催地域の代表者と沖縄、福井からの招待参加を含めて合計 16 名の高校生が、各開催地の結果を持ち寄り、2 つのグループに分かれて活発な議論と発表を行ないました。</p> <p>【司会進行・主旨説明】 羽衣学園高等学校 米田 謙三 先生</p> <p>本日の全体進行役の羽衣学園高等学校 米田 謙三 先生より高校生 ICT Conference の主旨説明と本日の大まかな流れについて説明していただきました。</p> <p>【開会の挨拶】 文部科学省 生涯学習政策局 青少年教育課 課長 土肥 克己 様</p> <p>文部科学省の役割についてのご説明があり、その中で青少年教育課が何を担っているのかといった話からコミュニケーション力の重要性に触れられ、このように全国から集まって議論して発表することは非常に良い体験であり、楽しんで参加してほしいこと、また、それを持ち帰って伝えてほしいこと、そして、最終報告会への期待のお言葉をいただきました。</p> <p>経済産業省 情報経済課 課長補佐 岡北 有平 様</p> <p>目覚ましく変化しているスマホ・インターネット環境の中で、ルールを守ることだけではなく、ルールを変えていく力や殻を破る力といったものを身につけてほしいこと、そのためには本日の高校生 ICT Conference のような場は非常に良い機会であり、最終報告会での提案にも非常に期待しているとのお言葉をいただきました。</p> <p>【各開催地域代表生徒の自己紹介、地域の取り組みの紹介】</p> <p>アイスブレイクとして各地域代表者が持参したお土産の紹介と、自己紹介も兼ねた各地域の熟議の報告や招待参加校の取り組みの紹介を以下の順番に行ないました。お土産の選定もよく考えられていて、それぞれ個性豊かに特徴が出ており、また、代表者は 3 分間の中で上手にまとめて発表をしていました。</p> <ol style="list-style-type: none">① 北海道札幌東豊高等学校 3 年 男子② 北海道釧路明輝高等学校 1 年 男子③ 東北学院中学校・高等学校 2 年 男子④ 石川県立金沢二水高等学校 2 年 女子⑤ 長野県長野商業高等学校 3 年 男子⑥ 新潟県敬和学園高等学校 2 年 女子⑦ 福井県立福井商業高等学校 3 年 女子 (招待参加)
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

⑧ 水城高等学校 2年 女子

休憩

⑨ 神奈川県立光陵高等学校 3年 男子

⑩ 静岡市立清水桜が丘高等学校 2年 男子

⑪ 大阪府立東百舌鳥高等学校 3年 女子

⑫ 奈良県立王寺工業高等学校 1年 男子

⑬ 高知県立須崎高等学校 3年 女子

⑭ 福岡県立福岡中央高等学校 2年 女子

⑮ 大分東明高等学校 3年 女子

⑯ 沖縄県立沖縄工業高等学校 3年 男子 (招待参加)

高校生たちも最初は緊張していた様子でしたが、発表が進むにつれ和やかになってきました。

休憩

【挨拶】

内閣府 政策統括官（共生社会政策担当）付 参事官（総合調整第一・青少年環境整備担当）

村田 達哉 様

まず、内閣府の役割についてのご説明があり、各地域代表者の自己紹介も兼ねた素晴らしい発表があったこと、ただ、それで本当に十分なのか、本日の高校生 ICT Conference サミットにおいて議論を深めて、より実りあるものになることを期待しているとお言葉をいただきました。

【グループ熟議・発表資料作成】

進行役の米田先生から本日のファシリテーターと書記の紹介があり、イントロダクションとして今年度のテーマを振り返ってポイントを挙げていただき、熟議発表までのスケジュールの説明がありました。今回のグループ熟議は2つのグループに分かれて、それぞれ8名のグループで進められました。それぞれのグループで熟議の進め方やペースは違っていました。付箋を利用して模造紙に貼り付け、項目に分類しながら、役割分担もして工夫しながらまとめていきました。高校生から会場で参観している皆さんに直接口頭でアンケートを行なうような積極的な場面もあり、それぞれのグループで熱く議論が交わされました。

「グループ熟議」の詳細は別紙「高校生 ICT Conference2016 サミット熟議録」をご覧ください。

【グループ発表】

各グループともプレゼンテーションソフトを活用して5分程度の発表を行いました。

た。各グループの発表タイトルと発表概要は以下の通りです。詳細については別紙「高校生 ICT Conference2016 サミット発表資料」をご覧ください。

グループ A :

『アナログとデジタル』

- ・ ネットトラブルの事例と原因
- ・ 予防
- ・ 事後対策
 - ⇒ 発信方法として
 - ・ 学生向けの議会を開く（政府）
 - ・ 会社で講習する、紙のメディアで発信（大人）
親子で話し合う
 - ・ 近い世代の話を聞く、授業とテスト（子どもたち、同世代）
- ・ まとめ
 - ・ すべての世代・政府が協力して、関心を高める
 - ・ デジタルとアナログ両面での発信を行う

グループ B :

『大人だけが先生じゃない！！』

- ・ 肖像権についての予防と対策
- ・ 悪口・ケンカについての予防と対策
- ・ 高校生が物申す！！
 - ① 俺らに出前授業をさせてくれ！
 - ② ICT Conference のようなイベントを増やすべし！
- ・ 提言
高校生が中心となって、小中学生に伝える

【講評】

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部消費者行政第一課 課長 徳光 歩 様

まず、本日初対面の高校生が、限られた時間の中で議論してプレゼン資料にまとめて発表する能力の高さに感心し、非常に頼もしく思ったというお褒めの言葉をいただきました。各グループに対する講評概要は以下の通りです。

グループ A : 予防としてフィルタリングをかけるとの話もあったが、政府全体としてもこれを普及させていくことは重要な取組み。また、事後対策として大人に相談するということが印象に残った。すべての世代・政府が協力して、関心を高めるということについては、まさに高校生 ICT Conference がその取組みであると思う。学生向けの議会というのも印象に残った。

グループ B : 第三者（大人）に相談したくてもできないということが印象に残った。そういう中で大人ではなく高校生が先生になってということを高校

	<p>生自らそうした声が出るのは頼もしく思った。ICT Conference のようなイベントを増やしてほしいというのは我々も同じであり、参加した皆さんがこうした取組みであった、ということ伝えて広げてほしい。</p> <p>インターネットは新しい問題がどんどん出てくるかと思う。こうした予防や対策を考えることは終わることではなく重要なことであり、今後も考え続けてほしいという貴重なお話をいただきました。</p> <p>【集合写真撮影】</p> <p>最後に参加した高校生全員で集合写真を撮影しました。</p> <p>今回の参加者の中から、12月14日に開催予定の最終報告会（内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁）に参加する代表者2名を選出しました。代表校は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北学院中学校・高等学校 2年 男子 ・大阪府立東百舌鳥高等学校 3年 女子
参加校：	<p>札幌 北海道札幌東豊高等学校 帯広 北海道釧路明輝高等学校 宮城 東北学院中学校・高等学校 石川 石川県立金沢二水高等学校 長野 長野県長野商業高等学校 新潟 敬和学園高等学校 東京 水城高等学校 神奈川 神奈川県立光陵高等学校 静岡 静岡市立清水桜が丘高等学校 大阪 大阪府立東百舌鳥高等学校 奈良 奈良県立王寺工業高等学校 高知 高知県立須崎高等学校 福岡 福岡県立福岡中央高等学校 大分 大分東明高等学校 福井 福井県立福井商業高等学校 沖縄 沖縄県立沖縄工業高等学校</p>
日 時：	2016年11月3日（木・祝） 13:00-17:00
場 所：	東京 ユビキタス創造広場 CANVAS（内田洋行） 東京都中央区新川 2-4-7
参加人数：	熟議参加生徒 16人 見学者・関係者 94人（教員・教育関係者・その他） 合計：110人

4. 主担当

羽衣学園	米田	司会進行
安心ネットづくり促進協議会	白戸 源、高橋	事務局、庶務
一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構	清水、野沢 他	庶務
草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会	吉岡、工藤	庶務
協力団体、事業者等		挨拶、ファシリテーター、書記、講評 他
内田洋行	佐藤、真鍋	会場設営、機材準備 他

(敬称略)

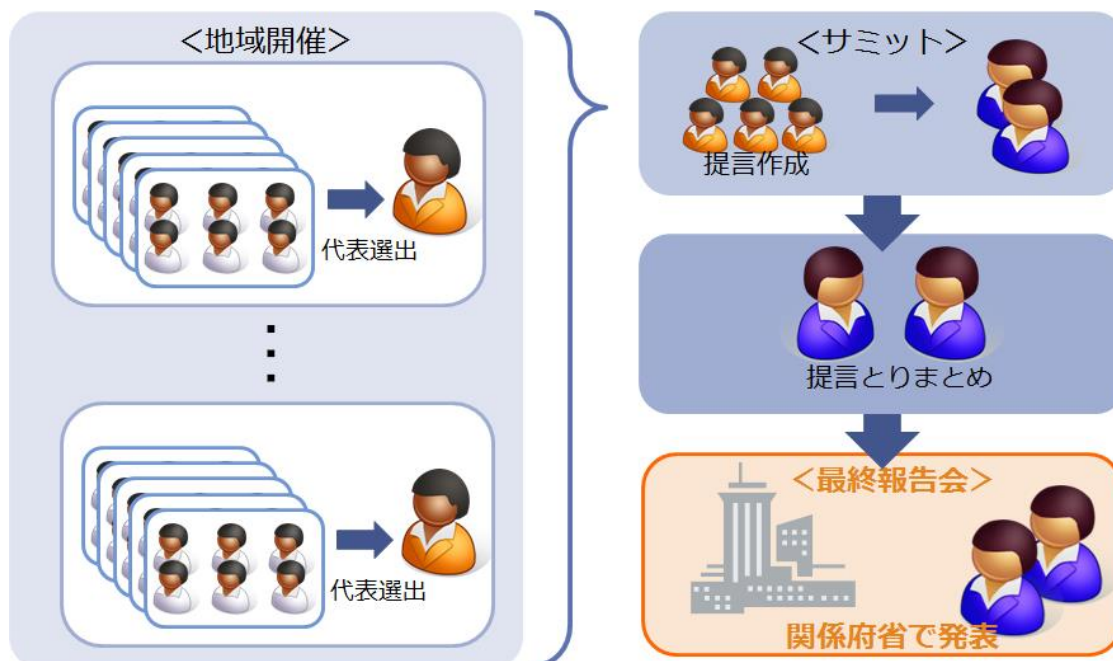
(開催後の予定)

5. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2016 サミットで検討された提言を、選出された代表者 2 名が報告用にとりまとめを行い、関係府省にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを語る。

【報告先予定府省】

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁



以上